株主通信 第120期 中間期

平成24年4月1日～平成24年9月30日

Reform & Enhancement
(事業構造の改革と強化)

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、株式会社トプコンおよびトプコングループの平成24年4月1日から平成24年9月30日に至る第120期中間期の営業の概況をご報告申し上げます。

当中間期における経済環境は、欧州では財政不安の長期化により景気が悪化しており、この影響を受け、米国では景気に減速感が出始め、中国等の新興国群でも、各国で状況は異なるものの景気は減速基調を示し始めております。

一方、日本においては、東日本大震災からの復興需要が牽引となり、景気は緩やかな回復が続いてはおりますが、海外経済の減速や円高の進行等により、その傾向は鈍化しております。

当社グループは、利益およびキャッシュフロー創出をスピード感を持って実行して競合メーカーとの競争に勝ち抜くとともに利益ある持続的成長を実現していくため、事業の“Reform（改革）”と“Enhancement（強化）”の推進と2011年4月に制定したTOPCON WAYの思想に基づいた企業風土の改革に取り組んでまいりました。

こうした中で、当中間期の連結業績は、次のようになりました。

売上高は、前年同期と比べると前年度に実施したファインテックビジネスの事業縮小による減少や欧州での為替の影響による悪化、中国市況の低迷等により、461億2千1百万円（前年同期比7.0％の減少）となりました。

利益面では、売上高の減少がありましたものの、前年度に実施したファインテックビジネスの事業縮小や希望退職者の募集、その他継続的な事業構造改革への取り組みにより、固定費の削減及び原価低減を行ったこと等から、営業利益は15億5百万円（前年同期比9億8千8百万円の増加）、経常利益は4億8千6百万円（前年同期比11億7千5百万円の増加）となり、前年同期と比べ大幅に改善いたしました。中間純利益は、生産拠点の最適化を目的に実施する株式会社ソキア・トプコンの松田事業所移転費用及び投資有価証券の評価損を特別損失に計上したこと等により、△12億2千1百万円の損失となりましたが、前年同期に比べ7億3千9百万円改善いたしました。

中間配当につきましては、上記の業績を勘案し、1株当たり2円（前期中間配当2円）とさせていただきましたので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

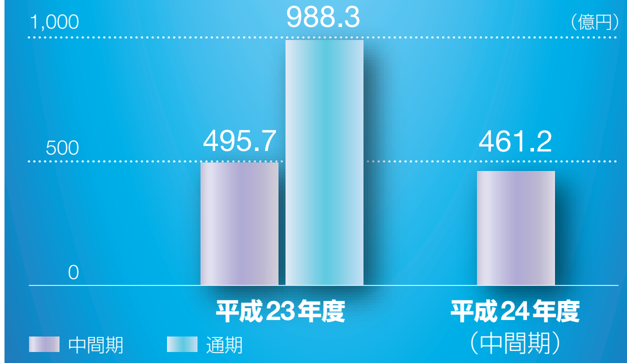
平成24年12月

株式会社トプコン

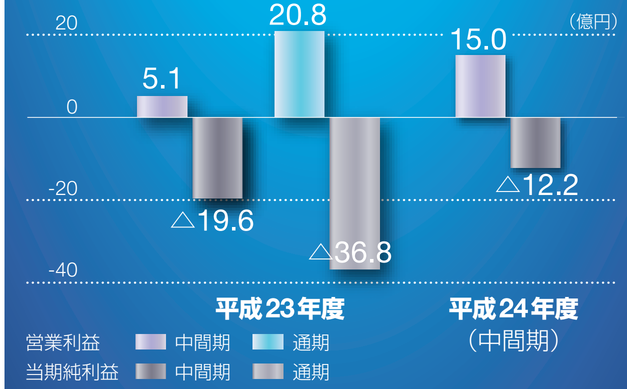
取締役社長 内田憲男

財務ハイライト（連結）

売上高



営業利益／当期（中間）純利益（△損失）



会社概要

商号	株式会社トプコン（TOPCON CORPORATION）
本社・工場	東京都板橋区蓮沼町75番1号
電話	03-3966-3141（番号案内）
ホームページアドレス	http://www.topcon.co.jp/
設立	1932年（昭和7年）9月1日
資本金	10,297百万円（平成24年9月30日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
社員数	860人（平成24年9月30日現在）
証券コード	7732

事業セグメント別概況

スマートインフラ・カンパニー

売上高 137億3千4百万円 営業利益 7億5千6百万円	トータルステーションなどの測量機器に加え、車載型3Dモバイルマッピングシステムへも注力。当期は、日本が伸長したことに加え、原価低減や固定費削減を行ったことにより収益改善。

ポジショニング・カンパニー

売上高 174億3千7百万円 営業利益 5億3千8百万円	マシンコントロール技術・GPS技術などの新しい技術を融合し、高精度な3次元位置情報を活用して事業領域を拡大。当期は、米国が堅調に推移したことにより収益増加。

アイケア・カンパニー

売上高 144億7千8百万円 営業利益 4億3千万円	眼底イメージング装置、網膜レーザ装置、システムソリューションなど、先端技術による商品力を強化、予防医学から治療分野まで事業領域拡大。当期は、原価低減等により収益改善。

＊トプコンは、平成24年6月27日より2ビジネスユニット体制を、スマートインフラ・カンパニー、ポジショニング・カンパニー及びアイケア・カンパニーの3社内カンパニー体制に変更しました。

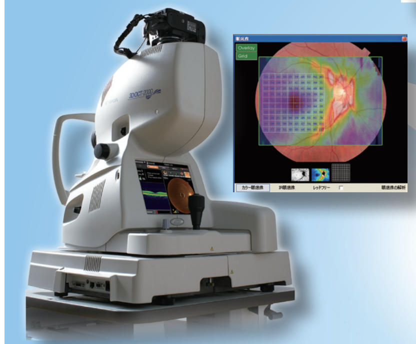
株主メモ

発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	92,688,342株(平成24年9月30日現在)
株主優待制度(年2回)	メガネセット(レンズ+フレーム)30%割引券(500株以上) (愛眼株式会社の全国各店舗で使用可能)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711(フリーダイヤル)

トピックス

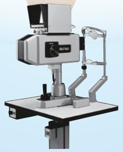
モバイルマッピングシステム
IP-S2 Lite

IT農業


3次元眼底像撮影装置
3D OCT-2000

80 years of INNOVATION TOPCON

トーコー3吋半トランシット
(1933-1934)


レフラクトメータRM-100
(1978)

EDMセオドライトグッピー GTS-1
(1979)

おかげさまで80周年

トプコンは、1932年に測量機、双眼鏡、カメラ等を製造する「東京光学機械株式会社」として設立され、今年9月1日に80周年を迎えました。この間、トプコンは一貫して、光学技術をコアテクノロジーに、デジタル(IT)技術などの融合により、測量機器や医療機器をはじめとするさまざまな光学機器の製造・販売に携わるとともに、電子線から赤外線に至るまでの幅広い波長領域に対応可能な光学技術を培ってまいりました。

この光学技術をベースとして、「スマートインフラ・カンパニー」では、測量事業やモバイル3D計測事業を推進するとともに、良質な日本の"モノづくり"力をもって新興国の急拡大するインフラ整備需要に応えていきます。また、「ポジショニング・カンパニー」では、先進国の土木施工現場や農業分野での省力化・効率化ニーズに着目し、GPS技術を核とした自動化施工やIT農業の拡大を図ります。さらに、「アイケア・カンパニー」では、世界的な高齢化に伴う眼科疾患の増加に対して、"予防・健診"から"検査・診断"そして"治療"までのトータルソリューションを提供することで皆様の健康を支えていきます。

トプコンは、100周年を目指し、これからも光学技術を核とし、広く人類社会に貢献してまいります。

トプコンではホームページによる情報開示を積極的に行っております。財務情報をはじめとする投資家情報(IR)に加え、「トプコングループCSR報告書2012」などの社会・環境活動の情報も公開しております。　http://www.topcon.co.jp/